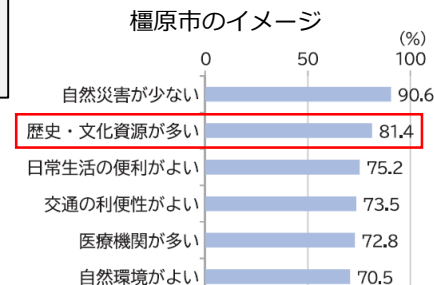


背景

人口減少克服のため、地方創生を進めている
→新たな人の流れや交流による魅力づくり

人口	12.5万人	→ 12.1万人	→ 8.3万人	
	(2014)	(2020)	(2060)	社人研推計

→強み①**豊かな歴史と文化**②交通の利便性③充実した医療・スポーツ環境
→市外：文化財をきっかけに橿原市に関心を持ってもらう
市内：文化財に親しみ、全市民で未来につないでいくことを目指す



現状の課題

国・県・市に指定や登録をされた文化財が**100件**以上…ほかにもまだまだ文化財の豊富さは認識されているものの、**その価値が十分に伝わっていない。**
文化財を伝えていくためには、行政の取り組みだけでなく、ひとりひとりの「想い」が必要。

事業の目的

文化財が、**もっと身近な存在**になってもらいたい。
引き継がれてきた文化財を**未来につなげたい。**

“あたりまえにそこにあるもの”を“知る・守る・伝える”、そして**未来へつなぐ**
→文化財を通じて、人と人、地域と地域の**新たな交流**が生まれる。
文化財への想いが深まり、**文化財でつながる町**になる。

これまでの取組

- 文化財調査…建造物・絵画・彫刻・古文書・民俗文化財調査（東の平田家（旧旅籠）調査ほか）
埋蔵文化財発掘調査（H22年～史跡菖蒲池古墳調査ほか）
- 指定文化財保存管理（消防設備点検）への補助
- 指定文化財保存修理への補助（木造大日如来坐像保存修理ほか）
- 無形民俗文化財の継承への補助（だんじり曳行、東坊城のホーランヤへの補助）



事業 内容

知る **文化財の価値を知る**

- 文化財調査
建造物・絵画・彫刻・古文書・民俗文化財調査 東坊城町のホーランヤ調査
埋蔵文化財発掘調査 本薬師寺跡発掘調査



埋蔵文化財発掘調査

守る **引き継がれてきた文化財を守る**

- 指定文化財保存管理（消防設備点検）への補助
県指定文化財木造聖徳太子立像、市指定文化財 旧常福寺観音堂ほか
- 指定文化財保存修理への補助
重要文化財 称念寺本堂解体修理、重要文化財 旧織田屋形解体修理ほか
- 無形民俗文化財の継承への補助
だんじり曳行、東坊城のホーランヤ



橿原神宮 旧織田屋形



東坊城のホーランヤ

伝える **文化財の魅力や価値を伝える**

- 人と人との交流
ホームページ、SNS、動画等での情報発信、現地見学会の開催



新沢千塚古墳群の見学

PR動画↓



これらを**ひとつのパッケージ**として、文化財との新しい関わりを提案します。

得られる 成果等

成果・目標

- 文化財を通して、橿原市と他の地域との**新たな交流**を図る
- 自分だけの「お気に入り」を見つけてもらい、文化財への**想いを深め、未来へつなぐ**
- 文化財の**調査・保存**を進め、**情報発信**をしていく

企業に求めるもの

- プロジェクト展開のための**資金提供**
- プロジェクトの**協働パートナー**
- 企業のメリット**
- 文化財を未来につなぐことへの**貢献**
- 社会貢献企業**としてのPR

【お問い合わせ先】 橿原市役所企画政策課 ☎：0744-21-1108
mail：kikaku@city.kashihara.nara.jp